

バッテリー液の点検・補充

- ・シートを開け、バッテリーを上方に引き出して、バッテリーの液量を点検します。
- ・液量が下限(LOWER LEVEL)に近かったら、キャップを外し、蒸留水を上限(UPPER LEVEL)まで補給します。



注意

- 車が傾いていると、液量は正確に計れません。
- 蒸留水を入れ過ぎると、こぼれて腐蝕の原因になります。
- バッテリー液を点検、補給した後は、ブリーザーチューブがブリーザー孔にしっかりと結合されていることを必ず確認して下さい。
- ブリーザーチューブがかんだりつまっていると、バッテリーの内圧が高くなりケースが破損することがあります。配管は正しいか確認してください。
- バッテリーからは、可燃性の水素ガスが発生しますので、取扱うときは火気を近づけないでください。
- バッテリー液は、希硫酸で、目や皮膚を侵しますので十分注意してください。万一付着したときは、すぐに多量の水で少なくとも5分以上洗滌し専門医の診察を受けてください。
- 充電の際は結線に十分注意し、すべてのキャップを外してください。また密閉された場所では、必ず換気を行なってください。

注意

